

質 疑 回 答 書 (そ の 2)

入札参加者 様

令和7年(2025年)7月18日

(工事番号) 令和7年度 第1号
(工事名称) (仮称) 第二大津合同庁舎新築工事

滋賀県土木交通部建築課
行政施設係

TEL 077-528-4252
FAX 077-528-4911

先日質疑いただきました事項について下記のとおり回答します。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
1	A-025, 026	隣地工事用地について、A-025の工事ヤードおよびA-026の埋戻し用残土置き場を利用するのに、借地費用は発生しないのでしょうか。借地費用が必要でしたら、1月当りの借地費を教えてくださいいただけますでしょうか。	借地費は発生しませんが、借地終了時に現況復旧が必要です。
2	S-01, 43 参考数量書p15	参考数量書 庁舎 コンクリート 躯体の「躯体コンクリート 免震基礎」に低熱ポルトランドセメントとありますが、図面には低熱ポルトランドセメントの指示は見当たりません。 ア) 参考数量書を正とし、免震基礎コンクリートは低熱ポルトランドセメントと考えてよろしいでしょうか。 イ) ア)が正の場合、低熱ポルトランドセメントの必要箇所はS-43 免震架台リストのMF1, MF2と考えてよろしいでしょうか。	ア) 貴見のとおり。 イ) 貴見のとおり。
3	S-01, 43 参考数量書p15	コンクリート 構造体強度補正について、免震基礎コンクリートにも必要と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。

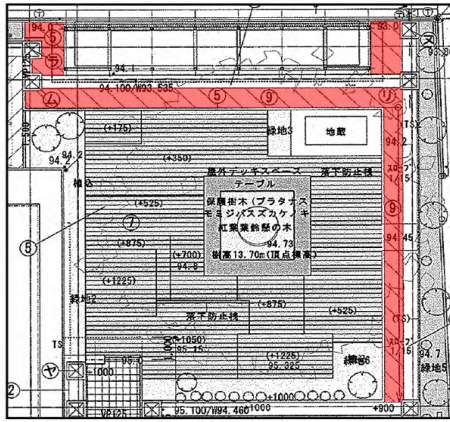
番号	図面番号等	質疑事項	回答
4	A-003, 046~051 S-01 参考数量書p16	屋上 防水押えコンクリートについて、特記仕様書・矩計図・構造特記仕様書は軽量コンクリート(LFc18)ですが、参考数量書は普通コンクリート(Fc18)です。 ア) 防水押えコンクリートは図面を正とし、軽量コンクリート(LFc18)と考えてよろしいでしょうか。 イ) かさ上げコンクリートは普通コンクリート(Fc18)と考えてよろしいでしょうか。(施工箇所があれば)	ア) 防水押えコンクリートは普通コンクリート(Fc18)とします。 イ) 貴見のとおり。
5	S-27~33, 55	柱型 耐火被覆について、参考数量書は1時間耐火 t25 281㎡/2時間耐火 t45 164㎡とありますが、SC1(□-200x200x12)×PH階2本とSP20W(H-200x200x8x12)×各階1本のみと思われます。柱型 耐火被覆の必要範囲をご指示ください。	柱型 耐火被覆材の必要範囲は以下の範囲とします。 ・ SP20W (屋内階段受け鉄骨) ・ EP25・EP20・EP17・EP15 (E V 関連鉄骨) ・ SC1 (□-200x200x12) × PH階2本
6	A-111~115, 121, 122	建具詳細図(7)窓防火設備) 建具無目裏 1時間耐火壁(St製)について、 ア) 該当建具符号はAW-7~12と考えてよろしいでしょうか。 イ) A-121 左下「一般部縦断面図」「防火連結材縦断面図」には両方に1時間耐火壁の指示があります。例えばAW-7は一部が防火設備となりますが、一般部分も1時間耐火壁が必要と考えてよろしいでしょうか。	ア) AW-6~AW-12が該当します。 イ) 防火設備部分のみ必要です。
7	A-111~123	建具詳細図(7)窓防火設備) 無目裏・耐火ボート裏等の耐火被覆について、範囲が不明です。一般部分及び防火設備部分共に必要でしょうか。それとも防火設備部分のみでしょうか。耐火被覆の範囲をご指示ください。	防火設備部分のみ必要とします。
8	A-050, 051	1階 階段室1(消火ポンプ室部分) 段裏の耐火被覆について、 ア) A-050 1階中間踊場~2階にかけて段板が他階とは異なり二重線となっています。耐火被覆が必要と思われますが、厚みはt45と考えてよろしいでしょうか。 イ) ア)が正の場合、1階~1階中間踊場までの段裏も同仕様と思われますので、耐火被覆が必要と考えてよろしいでしょうか。	ア) 貴見のとおり。 イ) 貴見のとおり。
9	A-050, 051	免震層へ降りる階段室2 Y3側について、A-051の天井に「防火区画」と記載があります。防火区画と記載のある段裏(天井裏)に耐火被覆t45が必要と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
10	A-008, 013～020, 043～045 参考数量書p40	天井仕上ボードについて、内部仕上表等で各所天井は化粧PB t9.5とあり、特記仕様書 19.内装工事 11. せっこうボード…「化粧せっこうボード(トラバーチン模様)」 JISの記号欄はGB-Dとありますが、参考数量書は不燃積層せっこうボード張り(GB-NC)です。図面を正とし、GB-Dと考えてよろしいでしょうか。	不燃積層石膏ボード(GB-NC)化粧とします。
11	A-007, 013～020 参考数量書p39	床 ビニル床シートについて、内部仕上表等はt2.5とありますが、A-013 参考メーカーリストの東リ ノックスリウムNWはt2.0のみでt2.5がありません。また、A-007 特記仕様書にはマーブル柄 t2.5と表記があります。 ア) 厚みはt2.5を正と考えてよろしいでしょうか。 イ) 参考品番を改めてご指示ください。(東リでフロアリュウムマーブル t2.5(一部受注生産品)があります。)	ア) 貴見のとおり。 イ) 参考品番：東リ フロアリュウムマーブル t2.5(一部受注生産品)または同等品とします。
12	A-015, 077	2階 湯沸室 壁について、内部仕上表は化粧ケイ酸カルシウム板t6とメラミン不燃化粧板t3の2種類がありますが、展開図は化粧ケイ酸カルシウム板t6のみです。2階 湯沸室は全面化粧ケイ酸カルシウム板t6とし、メラミン不燃化粧板t3は該当なしと考えてよろしいでしょうか。	2階 湯沸室 壁：全面不燃メラミン化粧板 t3とします。
13	A-008, 013～020, 043～045 参考数量書p39	壁 メラミン不燃化粧板や化粧ケイ酸板について、「3'×6'版使用で横シール目地1本あり」ではなく「3'×9'版使用で横シール目地なし」と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
14	A-014～020, 054～065, 071, 077, 085, 092, 099, 107	内部仕上表 各階バリアフリーWC 備考に「配管バック」とあり平面詳細図は実線ですが、展開図は点線表記です。バリアフリーWCの配管バックは機械設備工事のバリアフリーイレックに含まれるとし、建築工事は別途と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
15	A-014, 055, 066～068	1階 ロビー・EVホール・ホール 壁仕上塩ビシート張不燃パネルと無機質クロス張について、平面詳細図と展開図とで食い違いがあります。 ロビー・EVホール・ホールは主に塩ビシート張不燃パネルとし、A-067 展開図よりホールB面のみ無機質クロス張、共用廊下に面する壁は無機質クロス張と考えてよろしいでしょうか。	ロビー壁：塩ビシート張り不燃パネル張り EVホール・共用廊下 壁：無機質クロス張り ホール壁：無機質クロス張り 塩ビシート張り不燃パネル張りの範囲を 「別紙 質疑その2-15」に示します。
16	A-003, 014, 054, 055, 066, 069	1階 風除室1, 2 コンクリート壁のホール・ロビー・パースポートセンター側の仕上について、A-055 平面詳細図 風除室2 コンクリート壁 ロビー側に「杉小幅板木目化粧型枠コンクリート打ち放し仕上」とありますが、A-066, 069 展開図はそれぞれ「コンクリート打放補修+コンクリート保護クリア仕上」とあります。A-055の記載を正とし、風除室側と同様に本実型枠と考えてよろしいでしょうか。	杉小幅板木目化粧型枠コンクリート打ち放し+保護クリア仕上とします。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
17	A-014, 055, 066	1階 ㊦ - D面 腰杉小口材150角張の高さについて、内部仕上表と平面詳細図はH1200ですが、展開図はH900です。また、参考数量書はH900での面積と思われます。腰高さはH1200とH900のどちらが正しいでしょうか。(W4000×H2400の総合案内板があるので、腰高さH1200とすると案内板の一部が腰杉小口材に重なる形となります。H900ですと展開図通り、案内板の下端と腰壁上部が一直線となります。)	H=900とします。
18	A-014, 055, 066, 144	内部仕上表 1階 ㊦ - 壁に「一部県産材木製材」とありますが、これはA-144 展示家具を示していると考えてよろしいでしょうか。異なる場合は「一部県産材木製材」が示しているものをご指示ください。	A-144展示家具およびA-066展開図㊦ - D面に示す腰壁杉小口材張り仕上げを指します。
19	A-008	特記仕様書 19. 内装工事 14. グラスウールの天井に○印がありますが、必要箇所が不明です。不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は必要範囲をご指示ください。	不要とします。
20	A-013, 014~020	仕上表 特記事項に「2. 壁装材・塗材・塗装下地のボード張りで、…尚、仕上ボードの定尺は2,730とする。」とありますが、この定尺ボードの使用箇所は素地仕上の場所のみと考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
21	A-124	可動間仕切 SLW-1 潜り戸の枠について、A-124 ドア横断面詳細図に「ドア枠:スチール1.6(表面仕上:内装工事)」とありますが、枠仕上SOP等の塗装仕上ではなく、シート仕上と考えてよろしいでしょうか。	枠仕上SOP塗とします。
22	A-014, 054~065 参考数量書p39	壁符号 W3 不燃区画壁のボードについて、 ア) 平面詳細図の壁凡例はGB-Fですが、参考数量書の不燃区画間仕切壁はGB-Rと相違します。図面を正とし、GB-Fと考えてよろしいでしょうか。 イ) 不燃区画壁は1時間耐火仕様でなくてよいと考えてよろしいでしょうか。(A-014 右下には記載ありません。)	ア) 防火区画以外の内装不燃区画はGB-R(不燃)とします。 イ) 貴見のとおり。
23	A-054~065	平面詳細図で壁符号が「W3 W4」と記載されている部分は、W3が天井裏、W4が天井下と考えてよろしいでしょうか。	壁符号が「W3 W4」と記載されている部分は、全てW4 (LGS90(1F100)下地GB-R(不燃)12.5+12.5(天井裏界壁共)GW24K50mm充填(遮音仕様))とします。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
2 4	A-014, 046, 054～065	遮音壁のボードについて、 ア) 壁符号 W4は、平面詳細図の壁凡例はGB-Rですが、内部仕上表(1)右下に「遮音壁(1時間耐火) 強化PB(GB-F)」とあります。平面詳細図を正とし、GB-Rと考えてよろしいでしょうか。 イ) ア)が正でなくGB-Fの場合、1時間耐火仕様ではなくてよいと考えてよろしいでしょうか。 ウ) 壁符号 W5は、平面詳細図の壁凡例はGB-Rですが、A-046 矩計図1階に1時間耐火仕様と明記されているので、内部仕上表(1)右下記載仕様を正とし、GB-Fと考えてよろしいでしょうか。	ア) 貴見のとおり。 イ) ー ウ) 矩計図 1F天井裏に記載の1時間耐火はなしとします。平面詳細図を正とし、GB-Rとします。
2 5	A-005	特記仕様書 10. 石工事 2. 石材等に「天然石 玄関床框 大理石 100×40」とありますが、該当箇所が不明です。玄関床框は不要と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
2 6	A-006, 007, 013	外壁3 コンクリート面の塗装について、外部仕上表に水性フッ素樹脂光触媒カーキア仕上とありますが、参考品番が様々です。 ① A-006, 007 特記仕様書 エスケー化研 水性セラタイトSi ② A-013 参考メーカーリスト エスケー化研 セラミクリートF 外壁3 水性フッ素樹脂光触媒カーキア仕上の参考品番は「エスケー化研：セラミクリートF」と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
2 7	A-013, 046～051, 054～055	平面詳細図 壁符号 無記号の一般間仕切壁(W100, W90)はスラブまでとし、外周ふかし壁(W65)及び柱巻き壁(UL)は天井までと考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
2 8	A-031, 043, 073 参考数量書p37	防煙垂壁について、参考数量書は1階部分のみの数量ですが、2階会議室(4) B面にも防煙垂壁があります。必要と考え、仕様は1階と同じく「ガラス防煙垂壁 線入磨板がラスト6.8」と考えてよろしいでしょうか。	2階部分については別途工事とします。
2 9	A-046～049, 113～115, 120～122 S-56 参考数量書p20	参考数量書 鉄骨 外壁補強について、 ア) 摘要に「AW6・AW7上部ECPパネル」とありますが、AW-6は不要と思われます。AW-6は不要と考えてよろしいでしょうか。 イ) 「AW防火設備上部サッシ補強」はAW-7～12のすべてに必要と考えてよろしいでしょうか。範囲が不明瞭ですので必要範囲をご指示ください。	ア) 貴見とおり。 イ) AW-7～AW-12の全てについて必要です。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
30	A-120~122 S-56	鉄骨補強 耐火被覆について、 ア) 垂壁型の耐火被覆必要範囲をご指示ください。 イ) 腰壁型の耐火被覆必要範囲をご指示ください。	ア) AW-7~AW-12を支持する鉄骨補強部の防火設備範囲(延焼部分)とします。 イ) AW-7~AW-12を支持する鉄骨補強部の防火設備範囲(延焼部分)とします。
31	A-013, 031, 043, 052 ~053 参考数量書p47	参考数量書 駐車場・通路棟建築工事(屋根)に「EXP,J 耐酸被覆鋼板 t0.4 W300 H140 受金物FB-5x50 @500 1か所」とありますが、屋根L型取合部の屋根面・パネル側面・天井面と考えてよろしいでしょうか。該当箇所が不明瞭でしたのでご指示ください。	貴見のとおり。
32	A-013, 052~053 S-66	駐車場屋根 耐火被覆について、 ア) 断面詳細図 図示の大梁・小梁以外にブレースも必要でしょうか。 イ) 外部仕上表 エントランス(玄関)庇・駐車場庇 屋根に「C 100*50*20*2.3@600耐火被覆RWt25吹付」とありますが、断面詳細図等に記載はありません。不要でしょうか。	ア) ブレースに耐火被覆は必要ありません。 イ) C-100*50*20*2.3@600はRW吹付 t 25とします。
33	A-014, 140	床タイル・ペット+鋼製2重床部分 構造用合板の仕様について、A-140詳細図に記載されていません。ビニル床シート+鋼製2重床と同じくt5.5+t12と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
34	参考数量書p40	点字タイル・ペットについて、参考数量書は総厚11.5(8.5+3)とありますが、点字タイル・ペットは基材タイル・ペットt6.5またはt7.0に対して5mmの突起が付きまます。基材t8.5では点字タイル・ペットでは製作不可と思われます。(東リ 参考品番GX8600で加工はできますが、JIS規格ではありません。) パース・センターの点字タイル・ペット仕様を再度ご指示ください。	東リ 参考品番GX8600で加工とします。
35	A-005, 043, 046~ 047, 052~053	風除室1,2及び外部エントランス・駐車場の天井について、杉集成材羽目板の下地部の不燃合板t12が特記仕様書でびわこ材とありますが、びわこ材での製品はありません。地域指定なしの針葉樹合板(不燃認定品)と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
36	A-168~169	外部木造駐輪場について、土台は桧材加圧防腐処理材とし、その他の木部分は木材保護塗料塗り(工場にて1回塗り、仕上として現地で1回塗り)と考えてよろしいでしょうか。	土台・柱・その他構造材はすべて加圧防腐処理の上、着色木材保護塗料塗とします。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
37	A-030, 055	1階 EVホール EV1前の直角部分の点字タイルについて、平面図は注意喚起ですが、平面詳細図は誘導です。直角部分ですので平面図を正とし、注意喚起と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
38	A-033～ 035, 061, 063, 066	4～6階 EVホール EV2前 2枚の点字シートについて、平面図は図示がありますが、平面詳細図は図示がありません。平面詳細図を正とし、EV2前 2枚の点字シートは不要と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
39	A-008, 013	塩ビシート張り不燃パネルについて、 ア) 特記仕様書 19. 内装工事 17. に○印はありませんが「アイカ工業(株)オルティパ®」とあり、参考メーカーリストに「アイカ工業(株)オルティパ®」とあります。塩ビシート張り不燃パネルはアイカ工業(株)オルティパ®と考えてよろしいでしょうか。 イ) 特記仕様書(○印なし)の施工場所に廊下・EVホール壁とありますが、内部仕上表等より、共用廊下は無機質クロス張、EVホール・ロビー・ホールは塩ビシート張り不燃パネルと考えてよろしいでしょうか。(ホールの一部は無機質クロス張)	ア) 貴見のとおり。 イ) ロビー壁：塩ビシート張り不燃パネル張り EVホール・共用廊下 壁：無機質クロス張り ホール壁：無機質クロス張り 塩ビシート張り不燃パネル張りの範囲を 「別紙 質疑その2-15」に示します。
40	A-161, 165 参考数量書p51	敷地北東側の舗装仕様について 図面は「⑨脱色アスファルト舗装」の図示と番号ですが、参考数量書は「透水性アスファルト舗装(北東側ロープ)」(30.9㎡)で計上されています。図面の「⑨脱色アスファルト舗装」を正と考えてよろしいでしょうか。 	参考数量書を正とし透水性アスファルト舗装とします。
41	A-151, 164 参考数量書p43, 54	参考数量書「消防サイン基礎」は2か所ですが、「消防サイン」は図面・参考数量書ともに1か所です。基礎も同様に1か所を正と考えてよろしいでしょうか。	サイン支柱は二本脚とし基礎2カ所とします。 「別紙 質疑その2-41」に示します。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
4 2	A-171 参考数量書p54	緑地帯客土について、参考数量書は36.8m3とありますが、緑地面積全体を含んでいるのでしょうか。客土厚みをご指示ください。（参考詳細図等ありましたらいただけますでしょうか。）	緑地面積全体を見込んでいます。 客土厚さ中木廻り：厚さ55cmその他全面：35cmとしています。
4 3	A-11 参考数量書p58	撤去工事凡例 ⑥「ネットフェンス H1200@2000撤去処分 コンクリート基礎共 18.4m」について、参考数量書は「ネットフェンス撤去 H1400 基礎共」です。凡例を正とし、ネットフェンス撤去の高さはH1200と考えてよろしいでしょうか。	参考数量書：「ネットフェンス撤去 H1400 基礎共」を正とします。
4 4	A-11 参考数量書p58	撤去工事凡例 ⑦「排水桝(900×900×1500)およびマンホール蓋φ600撤去処分 4箇所」について ア) 敷地現況図は3ヶ所の図示です。参考数量書も「マンホール撤去 3か所」です。参考数量書・敷地現況図を正とし、3ヶ所と考えてよろしいでしょうか。 イ) 参考数量書に「排水桝(900×900×1500)撤去」の項目はありません。「マンホール撤去 3か所」に含むと考えてよろしいでしょうか。	ア) 貴見のとおり。 イ) 貴見のとおり。
4 5	A-013, 131, 132	外壁ルーバー アルミ押出型材について、参考メーカーをご教示ください。	既製品ではないので、参考メーカーはありません。
4 6	入札公告 入札説明書	入札公告・入札説明書より、本工事の工期について、令和8年10月中旬～令和9年2月26日間の約16か月と想定されますが、大変厳しい工期設定だと考えられます。契約後、工期の延長を考えていただく事は可能性でしょうか。	市場の動向（資機材等）によって工期に影響を生じる恐れがある場合等、発注時において確認困難な要因に基づく場合は、監督員と協議することとします。
4 7	参考数量書p14	参考数量書 庁舎建築工事 鉄筋 躯体の「免震下部架台主筋フル溶接 D22 L100以上 920か所」について、構造図を確認しましたが該当箇所が不明です。作業要領等がわかりませんので、詳細をご教示ください。	詳細については、「別図 質疑その4-2」に示します。 別紙に記載のフレア溶接を見込んでください。 なお、当該部分については30d定着も積算数量に見込んでいます。

番号	図面番号等	質疑事項	回答
4 8	質疑回答書1-番号21 A-149	内部雑詳細図-11 アルミ建具壁取り付け合い詳細図に「額縁 スチール PL-厚1.6加工 SOP塗」とありますが、質疑回答書1-番号21でスチール焼き付け塗装とありました。額縁はスチール 焼付塗装と読み替えますが、壁との取合部材は詳細図のスチール SOP塗ではなく額縁と合わせて焼付塗装品とし、SOP塗は不要と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
4 9	A-054, 056, 058, 060, 062, 064, 119 参考数量書p35	TB-1, 1bの扉面のW寸法について、建具表の姿図と平面詳細図で相違します。 建具表 姿図：TB-1がW1110(165+600+345)、TB-1bはW910(165+600+145)。 平面詳細図：1～6階全てW910(165+600+145)。 建具表より TB-1はW1110、TB-1bはW910を正と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおり。
5 0	A-008 参考数量書p40	壁紙について、特記仕様書 19. 内装工事 12. 壁紙張り は「無機質 不燃」に○印がありますが、参考数量書は「量産品 1級」です。無機質 1級 不燃は量産級ではないと考えますので、AA級と考えてよろしいでしょうか。	1級の表示はAA級の不燃クロスを指しますので不燃材としてください。
		以上	